

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No. **175**
2015.7.25



東京都町村議会議員講演会
(平成27年5月15日開催)

議員講演会開催前、小澤一美議員に全国町村議会議長会理事、東京都町村議会議長会会長として、会の使命達成に尽くされたことに対する感謝状が贈呈されました。

第2回八丈町議会定例会

平成27年6月8日開催

目次

- 気になる事業の今は… …………… 2P
- 一般質問 …………… 3P
- 行政視察レポート …………… 10P
- 定例会の質疑から …………… 11P

第2回八丈町定例会 全員協議会

(平成27年6月8日開催)

(平成27年6月9日開催)

気になる事業の今は…



旧末吉小学校(元パソコン室)

今定例会は、午前中に一般質問が済み、午後から予算審議に入りました。審議内容は、26年度補正、27年度補正、契約と専決事項などでしたが、年度始めなので補正の審議事項は少なく、一日で終了しました。翌日には八丈町議会議員全員協議会が開かれ、現在進行中の事業の経過報告がありました。いずれも町にとっては多くの課題を含む内容となっています。

全員協議会の内容

地熱発電規模の拡大検討

まず、東京都環境局の職員3人が来島して説明。再生可能エネルギー利用拡大検討委員会のこれまでの議論を整理し、地熱発電を行う事業者の公募条件を明らかにしました。この条件で今年の秋に事業者を公募し、年末には事業者を決定するそうです。議員からは、事業者と東京電力との関係や事業者の決め方などについて質問がありました。

日本語学校の誘致

来年度、旧末吉小学校に開校予定だったベトナム人を対象とした日本語学校は、予定どおりの開校が困難であることが明らかになりました。事業主体である「汎アジア人材育成センター」が準学校法人の取得に向けて、東京都生活文化局私学部と相談したところ、生徒数や運用財産などの点で設立の要件を満たしていないことを指摘されたそうです。議員からは、初めから不透明な部分があり慎重

に対処すべきだった、この条件で開校は無理なので早急に断念するべきだなどの指摘が相次ぎました。

八丈島空港の指定管理

現在空港に関するすべての業務を東京都が行っていましたが、一部の業務について「平成28年度から、継続的な人員確保と技術の蓄積を民間活力にゆだねたいとの趣旨で指定管理者制度を導入する」と支庁の説明がありました。具体的にどの組織が指定管理者になるのかは明らかにしませんでした。

このほか、三根公民館建て替えについては建築資材の高騰によって建物と周辺の工事に合計7億円ぐらいかかることや、そのほかに、道路拡幅工事にもない東京都が大賀郷公民館の駐車場の一部を買収すること、町立病院に隣接した都用地を町が購入すること、大川浄水場系の更新などについて説明がありました。議会として、それぞれの事業の進行状況を厳しく見守っていく必要があります。

認知症対策「新オレンジプラン」への対応は

答 認知症サポーター講座を継続する等



山本 忠志 議員

◆ 所要時間 27分

答 福祉健康課長補佐 認知症は誰もがなり得る身近なもので、周囲の理解が大切。今まで同様に認知症サポーター講座を継続しその啓発に努める。

問 ② 認知症初期集中支援チームを実施する。

厚生労働省は2025年には、認知症の人の数は700万人に激増すると推定している。

本年1月、政府は認知症対策のために認知症施策推進総合戦略、通称「新オレンジプラン」を策定し、次のような具体的目標を提示したが、以下の4項目に対する八丈町の現状と今後の対策について伺う。

問 ① 認知症サポーターを800万人養成する。

ども達も参加しやすい認知症サポーター講座をすすめる。

問 ④ 認知症地域支援推進員等の企画による認知症カフェ等の設置。

答 介護事業所や社会福祉協議会等の協力を得て、実施可能な認知症カフェを設置する。

問 自分でできる「認知症の気づきチェックリスト」を作成し配布してはどうか。

答 東京都のものを参考にし作成しサポーター講座で配布する。

八丈町総合戦略ワーキンググループと八丈町総合開発審議会との関連性は

答 同一の方向を目指すべきもの

問 八丈町総合戦略ワーキンググループと八丈町総合開

発審議会との関連性は。

答 企画財政課長 まず両者は、同一の方向を目指すべきであり、基本計画は、広い視野での総合的な振興と発展を目的とするのに対し、総合戦略は人口減少の克服と地方創生を目的としている。また両者の構成員も異なっているが、盛り込む施策については整合性を図りながら進める。

島内全域にLAN環境の整備を

答 防災行政無線のデジタル化対応を含め検討する

問 先月末、島のホテルの一つが休業することになった。宿泊施設の確保は観光の根幹をなすものであり、今後、町としても支援の手立てを講じられないか。

答 産業観光課主幹 ホテル休業の大きな理由の一つに観光客の減少がある。その

ため、集客に向けてバスの三割引やスポーツ誘致等、間接的な形ではあるが観光振興のために取り組んでいる。今後も観光協会と連携して宣伝業務、集客事業等の観光誘致に取り組む。また、東京都の支援事業も活用する。

問 観光客の利便性向上のため、島内全域に無料公衆無線LAN環境を整えることも大切なことである。特に、外国人観光客の誘致のために無料Wi-Fiスポットの提供は重要であり、また災害時の緊急通信手段としても有効である。現在の島内の設置状況と、今後の環境整備について伺う。

答 企画財政課長 無料Wi-Fiスポットの現在の島内の設置状況は、公共施設では各出張所と庁舎の5か所、民間ではNTTが31か所。今後は、防災行政無線のデジタル化への対応を含めて検討していく。

理数教育の進捗状況について

答
理数に限らず高度な教育ができるよう教員の配置に取り組む



山下 崇 議員

◆所要時間 16分

これまでに再三にわたり島内の理数教育の推進について質問してきた。町はこれを推進する旨回答してきたが本年度予算でも十分な措置は講じられていない。

図5月19日付で八丈高校が都立新宿高校と並び「理数研究校」に指定された。これで、小学校から高校まで児童生徒の一定の受け皿はできたものと思う。しかしながら都内との教育格差は依然として大きく、島だからこそ享受できる自然の豊

かさを十分に生かし切れていない。

地方創生の流れに鑑み、今一度町の教育行政の観点から理数教育の今後のスケジュールについて回答を。

図教育課長 八丈高校では「理数研究校」として八丈島特産の発光キノコの調査研究を行う。

これまで様々な賞を受賞し、実績を積んできたサイエンスクラブの活動が島の理数教育推進の最たる物で教育委員会でも支援している。

少子化による少人数教育の場にあっても、理数に限らず高度な教育ができるよう教員の配置に取り組んでいく。

図教育と地方創生は無関係ではない。八丈高校園芸科

を卒業した学生が、担い手育成センターの研修生になれば人材流失の歯止めとなる。教育分野が後継者育成に与える影響について再度伺う。

図八丈高校の園芸科は地方創生の観点から農業担い手育成において重要と考える。今後は島内だけでなく、島外からの生徒募集について検討していく。

人口増加策について

答
本年度漁業分野においてワーキングホリデーを計画している

図昨年の第二回定例会でも質問し、平成32年度までに1ターンの、Uターンの増加を目指すとの回答を得た。

この時点では、産業観光課と連携ができていないため目標についての回答は得られなかったが1年経過しての進捗状況は。

新規就農支援や農地リフレッシュ事業と言った様々

な制度がある。これらを効果的に利用して後継者育成や人口増加につなげる考えはないか。

震災からの被災者受け入れで得たノウハウを生かし、ターゲットを絞った移住促進を進める考えはないか。

図企画財政課長 定住促進策については、本年度漁業分野においてワーキングホリデーを計画している。

農業分野においては、池袋で開催される「新農業人フェア」において新規就農に関するPRや担い手育成センターの研修生募集を行う。

図国が提供している、地域経済分析システム（リーサス）については、自治体職員のみが閲覧できるビッグデータがあり、町は今後どのように生かすのか伺う。

図地域経済分析システムについては、正式な申請ができたばかりで、今後活用方法については検討してい

く。

図リーサスの活用について、人口動態だけでなく観光についてのデータも有効に活用できるはずだ。4月21日に提供開始となっているもので、どの部分か使えるのかわかりやすい回答を求める。

図リーサスにどれだけのデータが入っているのか全ては把握していない。

島にとって観光のデータは大変重要である。どこからどのくらいの人が訪れているかや、農業、漁業についても島の産物がどこへどのくらい売れているのかといったことも検証したい。

大里地区の玉石垣補修の補助金増額を

答

玉石垣の保存と後継者育成等を目的とした事業であり対応する



浅沼 憲春 議員

◆ 所要時間 10分

八丈島での観光の象徴である、大里地区の玉石垣の補修に対して、町から年間40万円の補助金を支出しているが、この金額では満足な補修が出来ないと言っている声

を聴く。
夏の観光シーズンを前に、大里地区で二か所にブルーシートで覆われた玉石垣があり、特に大里会館前の玉石垣は観光バスが駐車するそばにあり、記念撮影や散策する際に、歴史ある玉石垣がブルーシートで覆われている現状を、来島さ

れた観光客はどう思うか、ただでさえ減少している観光客の方々にはマイナスのイメージしか映らないのではないのか。

所有者負担が2割と聞くと、補修個所が大きければ負担も大きくなるので、所有者への補助金負担も考えて欲しい。

図島の歴史と文化を伝える玉石垣の保存に力を入れるためにも補助金の増額を図るべきでは。

教育課長 町では平成18年度から大賀郷玉石保存会に年間40万円の補助金で玉石垣の保存に対する住民の意識の醸成と後継者育成を目的に事業を行っている。

実施箇所は保存会が計画

を立て実施している。玉石の個人所有物の保全については、土地の所有者の責任もあり、事業で実施した場合において個人の負担も少なからず生じる。

個人の財産の保全について町がどこまで負担するのか、観光資源としての考え方や都道の拡幅等の問題も含めて、年間40万円の後継者育成事業として実施している。

補助金の増額については事業の主旨等をもう一度整理して保存会や地権者と相談したうえで今後の対応を検討する。



玉石垣が崩れている場所

図書館の雨漏りの補修を

答

老朽化は否めず、環境整備に取り組み

町民の子供から大人まで利用しているコミュニティセンターの図書館の雨漏りの修理及び補修を早急に行うべきだ。パソコン上の天井は雨漏りで変色し、壁が剥がれ落ち、側壁や床から雨が吹き込み壁等が変色を起こしている。

2015年度子供の読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰、04年度には八丈島子供文庫連絡会が団体部門で同賞を受賞するなど、職員や地域のボランティアの方々などの努力による賜物と考える。

よりよい町立図書館づくりをすすめる会では、平成24年5月に町立図書館に移転した際に、材料費等が2百万円減額され雑誌が購入できないとあり、先月の広報には図書館に多額の寄付をされる方もいる。

図書館は新たな知識を得

るための場でもあり、利用される方のためにも利便性があり内容の良い図書館を目指して欲しい。

図書館は町民が書籍に触れる機会を提供する重要な建物と認識しており、多くの書籍等を守り、利用者の安全を守るためにも、早急な対応を。

教育課長 雨漏りの補修は現在対応している。平成16年に東京都勤労福祉会館の移管を受けて、図書館として活用、開設が昭和46年と建物は古く、移管の際に補修を行い耐震等の問題はないと認識している。老朽化が進む中、図書館の在り方も変容して行くものと考ええるが、その存在意義は不変であり町民のコミュニティの場として子供から高齢者までの生涯学習の中核をなすものと考えている。

今後とも現在の施設を維持し必要に応じて改修等の整備や利用・活用のための環境整備に取り組みしていきたい。

八丈高校の生徒数減少に対する対策を

答
八高の魅力を発信しホームステイ受け入れも検討する



奥山 幸子 議員

◆所要時間 40分

答 教育課長 八高を重要な存在として認識している。今後も小中高が連携した学習の取り組みを行っていききたい。

町の人口減少は急速に進み、八高の今年の入学数は44名、園芸科は0だった。このままでは定員の削減や教員の減少、ひいては税収の減少につながりかねない。まずは、島の子供たちが八高に親しむ機会を増やし、八高の魅力を伝える具体策を講じてほしい。島外からの受け入れにも取り組むべきだ。

問さらなる取り組みとして、中学校生徒が八高を見学する試みを授業の一環として行ってほしい。また、園芸農家の後継者対策のひとつとして、一度島外に出たあと島に戻って農業を継いでいる若い人の話を聞く機会をつくるべきだ。社会人向けの園芸講座で園芸の魅力も知ってもらうことも必要だ。

問人向けセミナーはすでに行っている。
問島外から生徒を募集するための受け入れ態勢の強化を。
答東京都や他島と連携し、ホームステイ受け入れの具体策を協議していく。
問今からホームステイ家庭の候補を探しておくべきではないか。
答【回答がなかった】

空き家対策と定住促進策を早急に
答空き家を地図上にリストアップできるよう作業を進める

問空き家バンクと空き家条例をつくるべきだと思う。
答空き家バンクは、所有者と借り主とを仲介する宅建業者の協会もできていないので、すぐには難しい。空き家条例は、国の「空き家特措法」ができたので、条例はなくても対応はできると思う。
問なんとか、空き家登録1号をぜひ今年度中に誕生させるべき。
答できるよう、努力はする。
問島外から人を呼ぶために町が考えている対策は。
答移住相談窓口を設ける。情報発信に力を入れ、全国移住ナビにも登録した。ホームページで情報掲載もしていく。イベントでの宣伝も始めている。

各種イベントでパンフを配ってほしい。子育て環境は群をぬいて優れているので「仕事があつて、子育てしやすい島」を売りにした専用パンフの作成と担当職員を派遣を提案する。
答専用のパンフについては検討したい。職員派遣はすぐには難しい。

問園芸、家政科希望者には体験入学を実施している。農業後継者の話を聞く提案は前向きに考えたい。社会

問企画財政課長 委託業者に依頼し、8月を目途に候補となりそうな空き家を地図上にリストアップできるように作業を進めている。

問より積極的な売り込みが必要だ。町のアンテナショップや島外で行われている



今年のフリージアまつりの成果は

答 花摘み昨年より600人増



沖山 恵子 議員

◆所要時間 18分

春の一大イベントフリージアまつり。昨年も今年もまつり開始時に花が咲かず緑の絨毯で、私なら高い航空賃を掛けて来たのがっかりし騙された、と思う。他の場所は少し咲いており、保温対策で改善できるのではないが。

問フリージアまつりのイベントの内容、集客数、費用は。

答産業観光課主幹 主なイベントと参加者数は、八形山メイン会場では、花摘み、

問タレントの山田邦子さんがフリージアまつりで大変な思いをしたと毎年番組で話している。イメージダウンを避けるため町として対策を講じた方が良いのではないか。

答邦子さんの話は内容が確認できていないが、逆にPRの機会ととらえ来年のキヤラバンで訪問する方向で調整したい。

坂上の過疎化対策を

答 住宅の家賃補助が事業化できるような取り組みたい

議員研修で地域が減びない為には、人口の年齢バランスが大切で、人が多くても高齢者ばかりでは活力がなく、子どもを含めた若い人が増えなければならぬと学んだ。また女性は子どもを産まない人、産めない人もいるので子どもをたくさん産み育てる人がいて出生率のバランスが成り立

問住宅の家賃補助事業はできないか。

つ。子どもさんの方が子育てで経済的に負担にならない方策を講じ3人4人と子育てをしてくれる人を応援することが人口対策として大事だと教わった。坂上に住みたいが家賃が高く住めないという人がいる。家族が住めない設定は何かおかしい。坂上の過疎化対策として、坂上に住む子育て世代に特別に手厚い支援や住宅費の補助はできないか。

問坂上地域の単身世帯以外の入居率は。

答建設課主幹 平成27年5月末現在、集合住宅は管理戸数50戸、入居世帯49戸、二人以上世帯16戸、入居率は32%。一戸建ては管理戸数48戸、入居世帯46戸、二人以上世帯42戸、入居率は87.5%。入居時は複数で、現在は一人になった方も含む。現在、町営住宅の空き家減少のため、希望者が少ない場合、3年間の期限付きで単身者にも貸出している。

答町営住宅は低所得者に対して低廉の家賃で住宅を提供することを目的としている。国や都から補助を受けている。町営住宅事業において家賃補助をするのは難しい。今年国から補助が受けられる「八丈町総合戦略」を策定する。その中で定住促進や子育て支援事業を検討し、坂上地域の人口対策として住宅の家賃補助事業が出来るように取り組んでいきたい。

問旧末吉小学校の遊具が撤去されている。保育園・小学校・中学校と無くなったが末吉に子どもはまだいる。児童遊園として整備し子育て支援を。

答教育課長 旧末吉小学校の校庭の危険だった鉄棒を撤去した。錆びなどで危険なブランコとターザンロープについては、新しい遊具に交換して子どもたちの遊び場を確保していきたい。

八丈島の戦跡の活用と保全を

答

今後どのような形が考えられるか検討していきたい



岩崎 由美 議員

◆所要時間 13分

八丈島には太平洋戦争時に構築された数多くの戦跡が残されている。特に、鉄壁山の陸軍司令本部壕などは教育資源的にも観光資源的にも大変貴重なものと考えられるが、現在では安全への配慮から立入禁止となっている。私事になるが、かつてビクターセンターに勤務していた頃、鉄壁山の司令本部や神止山の史跡に許可を頂き、内部の地図を描くという企画を行い、多くの学びを得た。このような体験は、八丈島でこそ可能な貴重な体験といえるの

ではないか。戦後70年、その記憶が薄れていく中で、その記憶を止める上でも貴重な史跡であるが、これらについての活用を促進するという立場から伺いたい。

◎鉄壁山の陸軍司令本部壕は、関係者からも利用を要望する声が寄せられている。今後これらの分野での活用が望まれるが、これについての考えは。

◎教育課長 鉄壁山陸軍司令本部壕はその歴史観点から、戦後中の島を物語る歴史の遺産として貴重な資源であると認識している。ただし、平成17年に発生した鹿児島市で中学生生徒4人が地下壕内で死亡した事件を受け、国は各自自治体が把握している地下壕について、陥没、落盤等の危険性

の有無、地下壕への立入可能性、及び安全性確保対策等の状況調査を実施し、立入が容易である地下壕については土地所有者に対し、入口封鎖等の処置を執るよう依頼した。町も、町有地

にある鉄壁山陸軍司令本部壕の入口に立入禁止の看板を設置するなど、その安全対策を講じている。ご指摘のとおり、八丈島には鉄壁山に限らず、戦跡遺跡が多く存在し、その種類は多岐に及んでいる。歴史民俗資料館の企画展示を企画しているが、鉄壁山について、どういう形で展示していくのか考えて行きたい。

◎利用する際に、このような戦跡に対しては、勝手に入ったり、物見遊山あるいは単なる興味だけで訪れるのではなく、専門の教育を受けたガイドの同行を義務づけるなどのしくみづくりが必要と考えるが。

◎先ほども申したように、安全管理の観点から町は立入を禁止している。ただし、

調査、研究といった学術的な目的など、必要と認められる場合には、司令部隊が熟知し安全管理に長けた方がガイドとして同行することは必要。

◎重要な史跡として、今後保全していく必要があり、そのための最低限の補修等も必要と考えられるが。

◎鉄壁山を町の資源としてどのように位置づけ、活用していくのか、そのところを精査し、検討していく必要があると考えている。

◎危険と言うことで閉鎖しているということだが、平成17年の事故を受けての全国調査で、町ではどのような調査をしたのか、結果があれば教えてほしい。

◎平成17年度調査の結果はないが、平成25年度に都内の地下壕の調査を東京都が行っているが、都内で180程の地下壕が確認されおり、そのほとんどが小笠原にある。八丈島としても大

賀郷に3、三根に2、末吉2、計7件が危険またはその可能性がある地下壕ということである。7カ所の中に鉄壁山があるかどうかは確認する。

◎八丈町の中で、道路や港はほとんど綺麗になっていくが、玉石垣や寺社仏閣など、八丈島にとって大切な文化的なものはないがしろにされているのではないかと。ただ危険というだけで、貴重な戦跡がそのまま朽ちていくのはあまりにも惜しい。安全管理は必要だが、それだけを大義名分にして活用しないのではなく、保全活用について前向きな姿勢がほしいが。

◎司令部隊やそれ以外にも、たとえば底土の回天、名古の震洋平和記念碑、中之郷のレーダー、東光丸の碑など島内の戦跡について把握はしているが、今後どういった取り組みができるか、また資料館の展示等も含め検討していきたい。

底土船客待合所前のタクシー乗場の改善を

答 支庁と協議する



菊池 睦男 議員

◆所要時間 24分

タクシー乗場は遠くて、客に見えない位置にあり、利用者は不便な思いをしている。

利用者の見やすい所に看板の設置と、松の木辺りにタクシー乗り場の確保を。

企画財政課長 底土の多目的広場は、昨年、タクシー客乗場への歩行者通路を整備し、今年、案内板を設置した。松の木辺りは、横断歩道や駐車場入口に近く、歩行者や自転車の安全上の問題がある。



底土タクシー乗り場

現実利用に利用者やタクシードライバーが異口同音に「不便だ」「あだんかしてけろ！」と言っている。一寸した気配り、おもてなしの心が必要。即刻善処するよう支庁に強く申し入れをして欲しい。

支庁とも改めて協議する。

低廉な航空運賃実現のために

答 「全離島」が国に要望している

27年度要望活動で、何を要望し、どういう成果があったのか。将来に向けて、低廉な運賃実現の為に、何をどうすれば良いと考えるのか。

企画財政課長 5月の定期要望は、都の港湾局に航空運賃引き下げについて行った。内容は、「全離島」が国に要望している、航空運賃を新幹線並みにすることなどを趣旨とした、離島航路航路新法の早期制定への支援、又、島民を対象にした航空運賃負担軽減への支援である。

全日空との間に定期協議の場はあるのか。又、相互理解と信頼の構築はあるのか。ここで、八丈航空史の幕分け、創成期を振り返りたい。昭和28年に青木航空が、不定期に乗り入れを開

始し、以後、日本ヘリコプター、日本遊覧、藤田航空と続き、全日空が誕生したのが昭和38年。10年間に五社の航空会社が入替る変遷があった。私達の先達は、種爾・観葉植物を一刻も早く内地へ送るために努力して飛行機をとばした過去の経過がある。ところで、昭和38年に藤田航空が墜落し、19名全員が死亡。そこで同様が、事故現場は特定され、慰霊が出来る状態か。例えば、大島三原山のもく星号墜落は、今も慰霊法要がなされ、JAL首脳と大島町との信頼関係は強いことが窺える。そういう事も信頼関係を築く上での礎となると思うがどうか。

全日空との定期協議の場については、今年の2月下旬、町役場で、全日空のネットワーク部門と販売計画部門の方々と意見交換を行った。全日空としても、利用率が厳しい八丈路線を、町と航空会社が連携協力して、一緒に何が出来るかを主題として、定期的な

意見交換の場を設けることはやぶさかでないとの回答を得ている。町としても航空活性化のための知恵をしぼっていききたい。全日空との相互理解・信頼構築の問題は、まずは適宜訪問し、意見交換を行うことが第一と考える。藤田航空事故現場は、場所の特定は出来ているが、環境整備については、事故後50年を経て、当時の事情、経緯が分からない部分がある。記念碑の問題については、今後の検討課題にしたい。

行政視察レポート



「名古屋大学」・「有機分解セラミックス生成装置」 「名古屋市科学館」を視察して

期間 平成27年2月9～11日

視察者 山下崇、奥山幸子

奥山博文

名古屋大学大学院生命農学研究科

今回の行政視察では、現在島内で進む理数教育推進の観点から、島とつながりの深い名古屋大学生命農学研究科大場裕一助教の研究室を訪れた。

大場助教は島の持つ自然の豊かさを武器に、子供達が科学の目を育む可能性を提唱し、これまでも何度も講演を行っている。

研究室では、島の「ヤコウタケ」「ヨコスジタマキビモドキ」「ニッポンヒラタキノコバエ」等を用いた研究を行っている。

研究の最前線でも島の財産である発光生物が活用されている点や、今後理数教育を進めていく上での課題や目標についてもお話を伺った。

現在、大場助教の教え子の一人が島へ移住し3年目となるが、連携を密に島の理数教育の芽出しに尽力されていることも期待と同時に感謝するものである。

有機分解セラミックス生成装置

これは装置の名称から、ゴミ処理装置とは一見してわからない。ベンチャー企業が開発した全く新しいゴミ処理装置である。従来型の焼却炉と違い、ゴミを乾燥分解しセラミック化するこの炉は、導入コストで5分の1、減容率も100分の1から500分の1と驚異的でランニングコストも電気代が月に10万円程度である。

有機物のみ処理されるため分別も不要であり、大きな減容率から残渣の排出も極めて少ない。排出される残渣もいわゆる焼却灰とは違い、資源化が可能なセラミックであるため、島内から搬出され

有価物となり最終処分の必要がない。

また、施設が高温にならないため耐火材も不要で先々の保守管理にもコストがかからないなど、極めて先進的で合理的との印象を受けた。



玉三屋食品での視察

しかし、稼働実績がまだまだ少なく実際に運用中の施設を視察し、メーカーの説明を受けるため設置事業者を訪ねた。名古屋市にある、玉三屋食品という企業の工場に設置された装置を視察したが、産業廃棄物処理に費用のかかる企業としては、導入コスト以上の効果があるとのことだった。八丈町のクリーンセンターも建て替え、施設更新の時期が近づいており、あらゆる可能性を模索すべきであると感じた。

名古屋市科学館

島には子供達が科学を身近に感じられる施設はない。視察に訪れた時も多くの小学生が来館しており、楽しく学習している様子が見て取れた。あらゆる可能性を秘めた子供達に、様々な体験をさせることは教育上非常に価値のあることで、島の子供達にも義務教育中に一度は体験させるべきだ。

一方、名古屋市科学館では10年前から八丈島の「ヤコウタケ」の展示を行っている。発光生物の展示の一つであるが、最もインパクトの大きいものとして人気を博している。

冒頭の名古屋大学の部分でも触れたが、施設や人材に恵まれなく

でも島の自然を十分に享受できれば都市部の子供には引けを取らない教育ができると感じた。以前は名古屋便も就航し身近に

感じられた名古屋だが、最近では名古屋便があったことさえ忘れ去られようとしている。今回の視察では島と関わりの深い、あるいは

最新の施設を学ぶことができた。科学館は観光施設では無いが、「ヤコウタケ」を通して島をPRしている。

今回の貴重な機会を今後の議会活動に生かすよう努めたい。報告者 山下崇

第二回定例会の質疑から

国保会計の赤字解消のため医療費抑制を図る考えはないか



奥山博文議員

国民健康保険特別会計が赤字になるのは、医療費が一番関係している。

長野県では食事の塩分を減らしたり、体操をするなどの対策を講じ、医療費を減らし国保を安定させ、長生き県とした。八丈町も健康面での取り組みを実施する考えはないか。

福祉健康課長 介護保険でも要支援から要介護に移るところの健康を維持するための地域支援事業を始め

る。病院になるべくかからなくても済むように健康を維持すること、早期治療を目指すことを、地域支援事業の中で考えていく。

【国保は毎年繰上充用を行っているが、今後の方向性をはつきりさせるべきだ。等の質問あり】

いつから防災無線の5時のチャイムに町歌を流すのか

水野佳子議員



町歌が出来る。町民は身近に感じているが、更に身近に感じるため

に5時のチャイムで町歌のメロディーを流して欲しい

という住民の声がある。町は検討していると思うが、進捗状況と、いつ頃から流す予定か。

総務課長 現在準備中であるが、CDの出来上がり、音程を変えないと防災無線にうまく乗らないことがあり、本番で流せるか確認するため近日中にテスト放送を行う。

ふれあい牧場のトイレ改修と休憩舎の外壁の清掃

奥山幸子議員 従来からある女子トイレが汚いため、あえて新しく出来たバリアフリーのトイレを利用してある状況がある。女子トイレは和式、洋式が各1つあるが、全て洋式に改修し、きちんと清掃をするべきである。また、休憩舎の外壁がすごく汚れているが、観

光シーズンを迎えるにあたり清掃を実施するべきである。

産業観光課長 トイレの清掃は観光協会に委託して実施しているが、現場を確認して対応する。洋式への変更は検討する。外壁は、梅雨明け次第清掃する。

山口英治議員 町の公衆トイレ10数箇所においても和式から洋式に改修するべきである。9月の補正に予算計上し実施を。
住民課長 そのように検討する。

発議

日本を「海外で戦争する国」にする「安全保障関連法案」に反対する意見書

提出者…菊池睦男

賛成者…山下巧 岩崎由美 奥山幸子

原案否決

航空運賃特別委員会設置に関する決議

提出者…菊池睦男

賛成者…浅沼憲春 小川一 山下巧 山本忠志

提出者…浅沼憲春

原案可決

町ナビ

太田昭宏国土交通大臣が6月27日、視察のために来島し、八丈町では町執行部と全町議が大臣を迎えた。大臣との直接面談は昨年3月に航空運賃の値下げを直訴して以来。八丈町の概要を説明した後、山下町長と土屋議長が島民の切なる願いを込めた「離島航空路線における運賃引き下げに関する要望」を手渡した。太田大臣は「運賃は事業者が決めますが、さらなる引き下げができないかということ、働きかけていきたい」とあいさつした。



主な議決事項

6月定例会 平成27年6月8日開催

- 専決処分事項の報告及び承認について
(平成26年度八丈町一般会計補正予算)
ほか専決処分4件
- 平成26年度八丈町一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- 八丈町固定資産評価審査委員会の選任の同意について
- 平成27年度八丈町一般会計補正予算
- 八丈町墓地設置条例
ほか条例改正1件
- 八丈町クリーンセンター炉内耐火物購入契約
- 航空運賃特別委員会委員の選任について

全員協議会 平成27年6月9日開催

- 地熱発電規模拡大検討について
- 八丈島空港の指定管理について
- 東京都による大賀郷公民館用地(教育財産)の買収について
- 日本語学校誘致についての現状報告
- 町立八丈病院隣接都有地の買収について
- 三根公民館建設基本設計(概要)について
- 八丈町コミュニティセンターテニスコートフェンス
改修工事について
- 大川浄水場系の更新について
- ロベの会による庁舎厨房の使用について
- 観光協会補助金の執行について

編集後記

5～6月は、島内の各団体が定期総会を開催するシーズンで、その中では、前年度の決算と今年度の予算が審議されるのが通例になっています。どの会も、その活動を維持していくためには町の補助金なしには成り立たないほどその存在感の大きさを感じます。町も厳しい財政の中から絞り出すようにして精一杯の額を補助していますので、是非、有効に使っていただいて、町民のために役立ててほしいと願っています。

さて、この時期は議員の行政視察の時期でもあります。他の自治体の実践に学び、八丈町のために生かす。明日からの実践にすぐに生かせるものや長期的にグローバルな視点で生かしていくもの等々、その内容は様々ですが、視察で得たものを無駄にしないよう努めてまいります。今号は、6月議会の大まかな内容をまとめましたが、全てを網羅することはできません。是非多くの方々が傍聴に来ていただいて、議会の様子をご覧いただきたいと思います。

山本忠志

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 山本忠志 山下 崇 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575